

子供の頃に読んだ絵本。細かいことまでは覚えていなくとも、どことなくいつまでも心に残っているもの。絵本を開いて、ゆっくりページをめくつていくと、語りかけるはずのない書かれた言葉が、しつかりと心のうちに響いてくる。良い絵本にめぐり会えたとき、そんな表現がぴったりとはまっていきます。それほど大人になつてもかわらないか

「百万回生きたね」(佐野洋子、講談社)、「てん(ピーターレイノルズ、あすなろ書房)」「葉っぱのフレディーのちの旅(レオ・バスカーリア、童話屋)」「おくりもののはナンニエナイ(パトリック・

## 大きな国と小さな国

助任司祭 天本昭好



平和を実現する人々は、幸いである、  
その人々は神の子と呼ばれる。

マタイ 5:9

カトリック町田教会  
町田市中町 3-2-1  
電話 042-722-4504  
FAX 042-722-4512

http://www.machida-catholic.jp/

マクドナル、あすなろ書房」「おおきな木（シエル・シリ  
ヴァスタイルン、篠崎書林）」「小さなあなたへ（アリスン・マ  
ギー、主婦の友社）」「おじさんのかさ（佐野洋子、講談社）」  
など。

世界中の至る所で、さまざま

マクドネル、あすなろ書房)「おおきな木(シエル・シリヴァ・スタイルン、篠崎書林)」小さなあなたへ(アリスン・マギー、主婦の友社)「おじさんのかさ(佐野洋子、講談社)」など。

世界中の至る所で、さまざまなかたちでメッシュージを込めて絵本が創作されているのでしょうか。これからさき、どれだけ良い絵本に出会えるのか楽しみで仕方ありません。

そんな絵本のなかから、今回あらたに紹介したい本があります。それは、「せかいでいいちゃんつよい国(デビッド・マッキー、光村教育図書)」。主人公は大きな国の大統領すべての人の幸せを願いながら、大きな国の生活ほど素敵など暮らしはないと固く信じて行動していく大統領の姿。そのためには力で他国をねじふせていく。大きな国は世界中の国を征服し、最後に残ったのが、小さな国でした。それは他者を脅かす力が何もないからにすぎません。最後に征服しにやってきた大きな国の人達と小さな国の人達のやりとりがこの絵本のなかで語られています。

この大きな国の大統領の姿は、もしかすると日本で暮らしているわたしたちの姿と重なるのかもしれません。それ

は力によつて幸せを掴もうとする姿。自分の論理だけで幸せをつくろうとする姿。そこには、大きな国の論理にあわることこそが最良の選択であります。かのように錯覚していく姿が浮かび上がります。幸せになれないのは力が足りないから。それなら、もつと力をつけてより大きな力をつけていく。そんな際限のないスパイラルのなかで、もがいていくことが幸せをつくついくことなのでしょうか。

え、平和についてそれぞれが語り、祈つていく。それが平和を深めていく時となつていい。東京教区としては、今までカテドラルを中心に行つてきましたが、昨年から従来のカテドラルに加えて、多摩地区（多摩東西南北四つの宣教協力体）と千葉地区でも、この期間に平和旬間の企画運営を行うようになりました。

今年は、多摩南宣教協力体が運営して、町田教会で平和旬間の企画が行われます。わたしたちが平和について語つていくこと。それは正義の名のもとに人を裁くためではありません。違う意見の他者を排除するためでもありません。福音を聞いていたわたしたちが、それぞれの立場からしっかりと平和について語り、それぞれが耳を傾けていくこと。他の意見を受け止め、さらには自分の平和への思いを深めていく作業の繰り返しがそこにあります。力の論理で考えれば、無駄な時間と作業は幸い“という御言葉が響いてくると思います。小さな国人達の姿もここにつながつていくと思います。

ともに平和を祈る時となりますように。

## 運営委員会 多摩南宣教協力体について

運営委員会委員 東京地区 安藤 康弘

皆さんには「宣教協力体」という言葉を知っていますか? 「初めて聞いた」という人、「言葉自体は聞いたことがあるけど...」という人、「言葉自体は聞いたことあるけど...」という人、「宣教協力体は知っているけど...」という人、多いのはこの三拍パターンでしようか。

そして、表現の中に使った「(けど...)」という言葉が、意外に雰囲気をよく表しています。

そもそもは、岡田大司教が教区の改革として「新しい一歩」を発表し、二〇〇三年に「宣教協力体のための指針」を出され、同年の四月から新しい協力体制がスタートしました。町田教会は、成城教会、喜多見教会とともに「多摩南宣教協力体」に所属することになりました。

宣教協力体が出来上がった背景として、「将来、神父の数が不足してきた時、各教会に一人ずつ神父を置くことが出来ない」といった部分が少なからずあります。

同じ東京教区でも、千葉地区の方では「各教会に神父がない」という問題は切実であり、実際に宣教協力体が機能している地域があります。

東京地区でも決して「他人事」ではないのですが、やはり千葉地区に比べると、危機感が薄いのは否めません。しかししながら、多摩南宣教協力体は頑張っている方だと思っています。何がすごいって、先ず宣教協力体の全体会議が、年に数回のペースで継続して行われているということです。(レベルが低い)

いくつかある宣教協力体の中には、「各教会が特色を生かし独自の運営をしているので、あえて協力体で何かをしなくても...」というところもあります。しかし、信者全体のレベルで考えたとき、最初に述べた「(けど...)」に続く「別に関係ないよね」って空気は、町田だけでなく、三教会にも言えることです。

とはいっても、定期的な会合の成果があり、「宣教協力体の合同勉強会」も、二回のシリーズを行つことが出来ました。「同じ会場で効率良く、講師が三教会の信者に講義を行つた」ということではなく、「同じ宣教協力体の一員として、ともに学び、ともに問題や意識を分かちあつていく」ことが出来ればと思います。

実のところ、宣教協力体と

「初めて聞いた」という人、「言葉自体は聞いたことがあるけど...」という人、「言葉自体は聞いたことあるけど...」という人、「宣教協力体は知っているけど...」という人、多いのはこの三拍パターンでしようか。

そして、表現の中に使った「(けど...)」という言葉が、意外に雰囲気をよく表しています。

そもそもは、岡田大司教が教区の改革として「新しい一歩」を発表し、二〇〇三年に「宣教協力体のための指針」を出され、同年の四月から新しい協力体制がスタートしました。町田教会は、成城教会、喜多見教会とともに「多摩南宣教協力体」に所属することになりました。

宣教協力体が出来上がった背景として、「将来、神父の数が不足してきた時、各教会に一人ずつ神父を置くことが出来ない」といった部分が少なからずあります。

同じ東京教区でも、千葉地区の方では「各教会に神父がない」という問題は切実であり、実際に宣教協力体が機能している地域があります。

東京地区でも決して「他人事」ではないのですが、やはり千葉地区に比べると、危機感が薄いのは否めません。しかししながら、多摩南宣教協力体は頑張っている方だと思っています。何がすごいって、先ず宣教協力体の全体会議が、年に数回のペースで継続して行われているということです。(レベルが低い)

いくつかある宣教協力体の中には、「各教会が特色を生かし独自の運営をしているので、あえて協力体で何かをしなくても...」というところもあります。しかし、信者全体のレベルで考えたとき、最初に述べた「(けど...)」に続く「別に関係ないよね」って空気は、町田だけでなく、三教会にも言えることです。

とはいっても、定期的な会合の成果があり、「宣教協力体の合同勉強会」も、二回のシリーズを行つことが出来ました。「同じ会場で効率良く、講師が三教会の信者に講義を行つた」ということではなく、「同じ宣教協力体の一員として、ともに学び、ともに問題や意識を分かちあつていく」ことが出来ればと思います。

実のところ、宣教協力体と





よ」との師の命令を守り、自分達の罪深さを曝け出しても、福音書を記し伝えてきました。弱さを知る時、「底なしのキリストの柔らかさ」は働きます。「教会」のことを本来エクレシア（ギリシャ語）と言います。その意味は「そこには誰かの言うことに引かれて集まつてくる者」で、「教え」の概念は無いそうです。私は、福音・「底なしのキリストの柔らかさ」に引かれて集まつて来た者です。福音が私達の上にも働きますように。

## 図書案内

毎年40冊前後の本が登録されていて、その多くが寄贈によるのですが、図書費で雑誌のほかに新刊書も購入しています。今まで長いあいだ、購入の基準は利用者や図書委員の声でした。寄贈本の受入れに追われることもあるため、毎年予算を使い残してしまった。委員で話し合った結果、図書の利用を増やすために08年4月以降リクエストを受けたことにしました。

それとともに、どんな本が読まれているか、利用状況を一年間記録しました。以下は2回以上借り出された本の記録です。

( はリクエスト )

ボケモンは小学生からリクエストがあり、相談の結果、

イスラエルに見る聖書の世界	新約聖書編・使徒行伝編
ミルトス編集部	5回
須賀敦子と9人のレリギオ	3回
神谷光信	4回
ウォーキングを祈りに	
油谷弘幸	3回
神の発見	
五木寛之対話者森一弘	3回
聖パウロ 和田幹男	3回
ナザレのイエス	3回
教皇ベネディクト16世	
ザビエルから始まった日本	
の教会の歴史	
結城了悟	2回
ペトロ岐部と187殉教者	
列福特別委員会	2回
引退しない人生	
曾野綾子	2回
続・小さくされた者の側に	
立つ神 本田哲郎	2回
教会の聖人たち（上・下）	
池田敏雄	2回
あなたに話したい	
晴佐久昌英	2回
ルルドの小さな軌跡	
立石圭子	2回
生きて、生きて、生きて	
曾野綾子+16人の宣教者	3回
ゼノ死ぬひまない	2回
老いは恵み 吉山登	2回
ポケット・モンスター	2回
水の都の護り神、ピカピカ	
星空キャンプ	2回

児童図書にも楽しいものをと  
いうことになりました。  
記録もあるかも知れま  
せんが、以上から、新しく入  
った本が利用されていること  
がわかります。年間貸出数は  
約190冊です。教会でなけ  
れば読めない本を重点にして  
いるので、いつそその利用を  
お待ちしています。

4月に、研究社から「新力  
トリック大事典第4巻（総索  
引つき）が発行され、全巻そ  
ろいました。会議室の本棚に  
あります。

## 犠牲献金 中高生会

5月3日 14,598円  
(ペロニカ苑へ)  
6月14日 5,765円  
(ペロニカ苑へ)

「雷の子」次号編集会議予定  
8月23日(日)09時30分  
於会議室

## 信者動静

2009年4月～6月

(個人情報のため、削除しています)



「雷の子」の編集スタッフを募集しています。性別、年齢、経験の有無を問いません。教会の広報および機関紙編集に興味のある方、右に記した編集会議に参加ください。